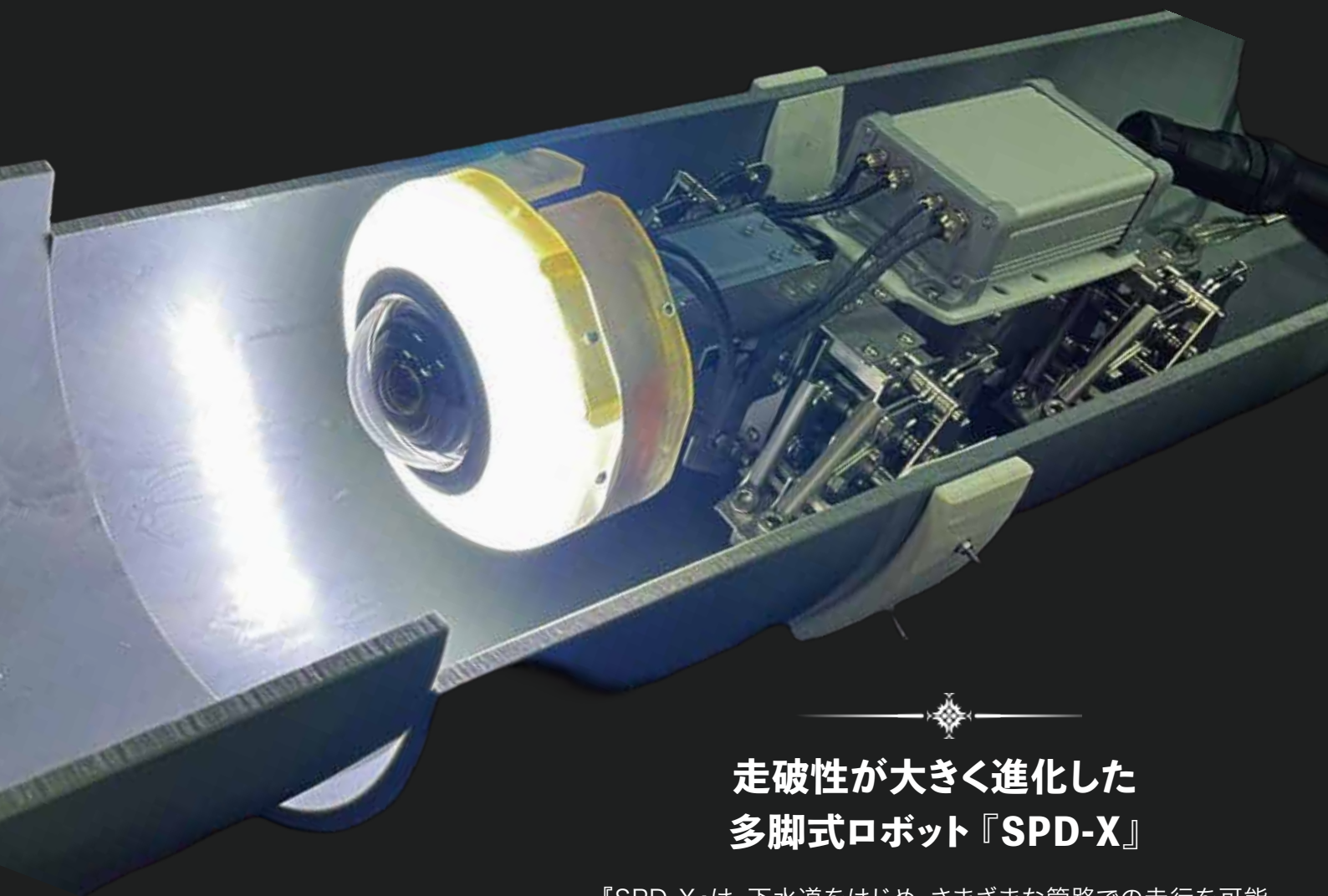


Multi-legged Walking Robot

SPD-X

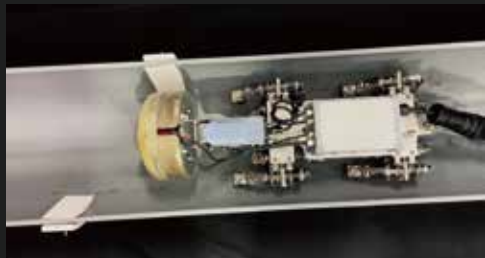


走破性が大きく進化した 多脚式ロボット『SPD-X』

『SPD-X』は、下水道をはじめ、さまざまな管路での走行を可能にした多脚式ロボットです。

点検や補修作業を効率的に行えるこのロボットは、2022年に開発した初期モデル『SPD1』と比較して、堆積物や段差の乗り越え性能が大幅に向上。多様な管径や管種に対応し、狭小部や危険な場所でも運用が可能です。

また、この走行方式は特許を取得しています。



Multi-legged Walking Robot

SPD-X

POINT
01

高い走破性

16本の脚により、堆積物や段差を乗り越えて安定した走行を実現

POINT
02

幅広い管径に対応

管路の直径200mm以上に対応し、狭小部や危険箇所の点検にも応用できる

POINT
03

高精度カメラ搭載

360度全方位を捉えるカメラで、細部まで確認できる

	SPD-X	旧モデル SPD1 (2022年発表)
サイズ	18 x 18 x 50 cm	基本仕様 21 x 25 x 25 cm (カメラ付き 21 x 25 x 28 cm)
重量	9.1 kg	約3.5 kg
移動速度	0.3 km/h	0.3 km/h
防水	◎ 対応	—
走行可能場	管路φ200 mm～ (脚の変更等によりさらに拡張可)、平地	管路φ200 mm / 300 mm
走破能力	◎ 堆積物 (土など)、段差 (継ぎ目のズレなど)	—
作業部機能	カメラ(性能) 【360度カメラ】 1230万画素、360°全方位、220°パノラマ	カメラ (性能) 【上部カメラ】 画角：水平62.2°×垂直48.8° 【360度カメラ】 画角：220° (全周)
操作	ゲーミングパッドによる遠隔操作	ゲーミングパッドによる遠隔操作

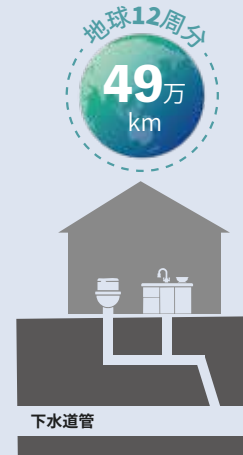
SEWER PIPE

全国の下水道管の総延長

全国の下水道管総延長約49万kmの内、約3万km (総延長の7%) にもおよぶ管が標準耐用年数の50年を経過しています。さらに、10年後は約9万km (19%)、20年後は約20万km (40%) と今後は急速に増加します。○ (※) 国土交通省ホームページを参考

その上、下水道工事現場では慢性的な人手不足が顕著に表れており、点検や修繕が完了する見込みが立っていないのが現状です。

そこで、今後増え続けることが予想される多様なニーズに対応するための新たな試みとして、日本発の汎用性が高い多脚歩行式 管内調査ロボットを開発しました。



FUTURE

人が立ち入れない場所や、過酷な環境でも使える高度な作業を行うロボットの開発

テムザックが25年間、蓄積してきたロボット開発実績の数々。その経験・ノウハウを活かし、特定の業界・用途に限定せずに《移動機構》に求められる機能を共通化。《作業部》と組み合わせ、連動して動作するインタフェースを有するベースロボット群の開発を進めています。

Customization ご要望に応じてカスタマイズロボットを製作します

work
section
作業部

高所作業

巡回点検

狭路補修

etc.

Cart
section
移動機構
(共通)



二足歩行



四足歩行



多脚式



三球



オムニホイール

Mar 10, 2025



株式会社テムザック

https://www.tmsuk.co.jp

075-748-0856

Kyoto / Fukuoka / Miyazaki

WORKROID WE CREATE

人・街・時代の力になる。



お問合せは HP CONTACT へ